

# 野村政子学位（博士）請求論文審査報告書

## 論文題名：『地方自治体の地域福祉援助の在り方 --包括的な支援体制を主題とした保健師による地域づくりからの接近--』

本学位請求論文は、地域住民が生活上の支援を必要とする際に、地方自治体が総合的に相談に応じ、サービスを調整し、関係者の協働によって社会資源の開発を進め、その活動の蓄積によって地域づくりを行う地域福祉援助のあり方を、保健師による地域づくりという視点から明らかにすることを主要なテーマとしている。

具体的には、市町村における地域福祉援助の構成要素を明確にし、市町村の地域福祉援助のモデルを描出し、そして地方自治体の地域福祉援助の課題抽出とあわせてその解決策を提示することの三点を具体的な研究目的として、以下に示したような論文の構成が生まれ、全8章328頁に亘って論考が展開されている。

いま、各章の内容を簡潔に示すと以下のとおりである。

「序章 地方自治体の地域福祉援助を取り巻く環境と本研究の意義」（全4節）では、地域福祉援助に求められる地方自治体の役割とその背景を示している。

「第1章 地方自治体の行政運営と地域福祉」（全5節）では、地方分権改革、組織と職員、コミュニティ政策、ソーシャル・キャピタル、ソーシャルワーク等の視点から、官民協働などを行政の特徴を踏まえて論じている。

「第2章 地方自治体の地域福祉援助に関する政策と先行研究における分析枠組み」（全3節）では、戦後の社会変化と社会保障・社会福祉の変遷、地域共生社会政策成立の経緯と、地域福祉における地方自治体（特に市町村）に求められる役割、地域福祉の先行研究における分析枠組みなどを整理している。

「第3章 地方自治体における障害者虐待防止のための地域福祉援助」（全5節）では、地域福祉援助の重要課題の一つとして虐待防止を取り上げ、現行の法制度や虐待の予防策が論じられ、その上で、障害者虐待を題材として自治体の取り組みと課題を論じ、モデルの提示を試みている。

「第4章 地方自治体における保健師の活動と地域福祉援助」は、続く第5章と共に本論文の中核をなすと言える部分であり、まず第4章では地方自治体における保健師の活動に注目し、先行研究を踏まえた上で、保健師ならびに自治体職員へのインタビュー調査の質的分析から保健師の活動に検討を加えている。次いで、二自治体の地域福祉援助の取り組み分析に立って、地方自治体の地域福祉援助の実際を描出するためのモデルの試案を提示している。

続いて「第5章 地方自治体の地域福祉援助の事例分析」では、地域共生社会政策の初期の国のモデル事業を分析し、地方自治体における包括的な支援体制構築の課題と解決方法を示し、次いで、筆者が担当した埼玉県行田市の取り組みを事例として取り上げ、その実際を分析し、「行田市モデル」を描出し、検討を加えている。さらに、地域福祉援助を担うキーパーソンに着目し、その活動を促進する4つの促進要因と地方自治体の課題についても提示している。

「第6章 地方自治体の地域福祉援助の実際と在り方」では、本研究の総括として、地方自治体の地域福祉援助の全体像が図表によって提示され、ついで、前出の「行田市モデル」の総括が行われ、地方自治体の地域福祉援助の実際・課題・解決策を提示している。

そして、「終章」において、本研究全体の結論と今後の課題を述べているのである。

いま、本論文の独自性としては、三点をあげることができよう。第1に、筆者が市町村職員として地域福祉援助の政策立案から実施・評価の一連の政策過程に関わった経験から、地方自治体の取り組み事例を詳細に示し、市町村の地域福祉援助の実際を一つのモデルとして描き出すことを可能とした点である。第2に、公衆衛生看護学において保健師が実践する地域活動という視点から、市町村の地域福祉援助を検討した点である。第3に、全世代が対象となりうる障害者虐待の問題を取り上げ、地方自治体の虐待防止活動を通して地域福祉援助を検討した点である。

このような独自性の上に、筆者は地方自治体の地域福祉援助を描出するための3つのモデルの試案を提示している。それが、(1)連携が行われる場に着眼し地域福祉援助を展開するプロセスを示す自治体の地域福祉援助政策過程モデル、(2)人に着眼した地方自治体の地域福祉援助における地域づくりのモデル、(3)個々の施策や事業（制度）がどのような成果を創出し、最終的に住民や地域に対してどのような影響を及ぼすのかを示すロジックモデルの3モデルである。

この点は野村氏の独創性が遺憾なく発揮された試案であり、後述する日本看護学会などにおいても注目をされた点である。

そして最終的に、地方自治体における地域福祉援助の課題として、「専門性」「包括性」「継続性」を取り上げ、それぞれの解決策を提示しているのである。

なお、本研究の今後の課題としては、地方自治体の取り組みに関する研究の築盛と実践研究方法の開発、ソーシャルワークと公衆衛生看護の理論や技術の融合可能性の検討、法律と行政計画から見た地域福祉と地域保健の連携、実際の地方自治体の取り組みにおける研究成果の具現化があげられているのである。

## 【論文審査結果】

野村政子学位請求論文審査委員会では、2022（令和4）年12月22日に口頭試問（対面）を行ない、その各委員の評価の提出を受け、審査委員全員が本論文が学位取得の水準に達していることを確認した。また、学位請求論文は同年12月15日～翌年1月18日まで社会福祉学部図書資料室において閲読に供し、2023（令和5）年1月28日に公聴会（公開、対面・ZOOM共用）を開催し、各位の意見を徴した。なお、審査委員会の意見としては次のとおりである。

本論文は、地方自治体の地域福祉援助の在り方を、保健師による地域づくりからの接近について明らかにするため、文献研究、インタビュー調査、地方自治体の事例分析と段階を踏まえて、研究課題に着実かつ緻密に取り組んでおり、高く評価することができるものである。

特に、地方自治体の地域福祉援助においては、多職種が活動を行うが、その中でも特に保健師に焦点を当て、保健師の役割や果たす特性を明らかにしようとした本研究は、新規性・独自性があると評価できよう。

また、本研究では、保健師の行う地域づくりの特徴や公衆衛生看護機能からみた地域福祉援助を明らかにするため、図式化や概念枠組みを用いている。文献研究やインタビュー等の結果を踏まえ、独自の図式化や概念枠組みを作成し、課題に関して解説をしたことは、独創性が高いといえる。また、プレゼンテーションは明快で質問に対する回答が適切であり、地域福祉援助や保健師の活動に関する知見や専門領域に関する知識が十分に修得されていると判断させるものである。

その一方で、モデル化が強く意識された結果、事例分析における具体性の検討については、更なる論考の必要があると思われる。また、先行研究や文献研究について、今後は科学計量学的手法を参照して、引用・被引用の観点から整理することにより、アカデミアにおける意義や現場における有用性をさらに鮮明化できるものと期待している。

また、筆者も論中で触れているように、保健師の特徴を明確化するために、看護職者である保健師の活動の強みでもある、「健康面を糸口にして住民の健康と生活を総合的に捉える視点」、「個人・家族・集団・地域全体」を総合的に捉える視点を強調できれば、より説得力が高くなることが期待できる研究であり、更に研究を発展させて、地域福祉と地域保健領域の整理、地域包括支援の展望に関する論考が発表されることを期待するとともに、対象地域を国外とする研究や実践にも視野を広げうる研究であると期待している。

なお、このような審査委員の意見を裏付けるものとして、『立正社会福祉研究』等における本論文テーマ関連の論考の継続的掲載があり、またその間、日本看護学会学術集会において発表された研究は、『日本看護学会論文集』に「市町村保健師が実践している総合相談の現状」（第47回、2017）、「市町村における総合的な相談支援とその体制を構築する業務の構成要素 - ある

市町村の実践を例として - 」(第 50 回、2020) として掲載されている。

特に、近年では『ソーシャルワーク学会誌』第 45 号(日本ソーシャルワーク学会、2022)に「研究動向からみた養護者による障害者虐待に関する自治体の取組の課題」が、また、『日本在宅ケア学会誌』第 26 巻第 1 号(日本在宅ケア学会、2023)に「行政保健師が行う「地域づくり」の特徴に関する文献レビュー - 地域共生社会政策における「地域づくり」との関連に着目して - 」がそれぞれ掲載され、本論文の重要部分を構成するに至っており、野村氏の研究が継続的に進められ、全国レベルの学術誌への掲載に至るまで深化していることを示しているのである。

これらの経過を含め、野村政子学位請求論文審査委員会は野村政子氏による学位請求論文『地方自治体の地域福祉援助の在り方--包括的な支援体制を主題とした保健師による地域づくりからの接近--』が、立正大学大学院社会福祉学研究科の定める「学位請求論文の評価基準」を充たしており、博士(社会福祉学)として相応しいものと認められるものであるとの結論に達したことを報告するものである。

以上

2023(令和 5)年 2 月 15 日

主査	立正大学大学院社会福祉学研究科教授	博士(文学)	清 水 海 隆
副査	立正大学大学院社会福祉学研究科教授	理学博士	溝 口 元
副査	立正大学大学院社会福祉学研究科教授	経済学修士	蟻 塚 昌 克
	(外部審査委員)		
副査	東北文化学園大学医療福祉学部教授	博士(医学)	佐々木 明 子